

(工学部・工学研究科)
2018年度生命保険協会留学生奨学金の募集

2017. 10. 18

1 応募資格・・・以下のすべてに当すること

- 1) アジア地域諸国(インド、インドネシア、韓国、カンボジア、シンガポール、スリランカ、タイ、台湾、中国、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、フィリピン、ブータン、ブルネイ、ベトナム、香港、マカオ、マレーシア、ミャンマー、モンゴル、ラオス)の国籍を有する私費外国人留学生(在留資格「留学」)。
- 2) 2018年4月に、学部正規課程3年に進級または、大学院修士課程(博士課程前期)に進学する者(入学が確定している者を含む)。
- 3) 学業・人物ともに優秀であり、かつ健康である者。
- 4) 金融業界、特に生命保険に関心のある者。
- 5) 日本語でコミュニケーションが可能な者。

2 奨学金の金額・期間

月額10万円 2018年4月から2020年3月までの2年間

3 推薦人数 2名

4 提出書類

- 1) 願書(別紙様式1、写真貼付 日本語で記入すること)
※パソコン入力可ですが、自筆部分は手書きのこと。印刷は片面印刷。
- 2) 平成28年度および29年度前期までの成績証明書
入学予定の者は、上記に加えて合格通知書(写し)又は入学許可書(写し)
- 3) 在籍証明書、経済状況調書(平成29年10月1日現在)
- 4) 私費外国人留学生身上調書(指定用紙)
- 5) 家計状況申告書(指定用紙)
- 6) 指導教員による成績評価(私費外国人留学生各種奨学金申請用)(指定用紙・厳封)

**4)~6)は、2017年10月以降に、他の奨学金応募ですでに提出したことがある場合は不要。*

7) 推薦書(別紙様式2)

**7)は、工学研究科から推薦が決まったら提出。パソコン入力可ですが、要押印。*

5 申請書類の提出先

工学部・工学研究科教務課国際交流係(中央棟3F)

6 締切日 平成29年11月10日(金)

2018年度 生命保険協会留学生奨学金 (セイホスカラーシップ) 募集・推薦要項

公益財団法人日本国際教育支援協会(以下「本協会」という。)では、一般社団法人生命保険協会のご支援により、「生命保険協会留学生奨学金」の2018年度受給者を、下記により募集する。

記

1. 目的

アジア諸国及び地域からの私費留学生に対して奨学金を支給し、日本での勉学への支援を通じて、日本と出身国との相互理解と友好・親善の増進に寄与することを目的とする。

2. 奨学金の寄付者および寄付の趣旨

本奨学金の寄付者である一般社団法人生命保険協会(以下「寄付者」という。)は、設立80周年記念事業の一環として奨学金制度を設立し、1990年度から2011年度まで経団連国際教育交流財団を通じ339名の留学生を採用したが、2012年度中に経団連国際教育交流財団よりこの奨学金制度が寄付者へ返還されることとなり、留学生への支援を継続するため、新たな奨学金制度の設立を目的として本協会に資金を提供された。

3. 応募資格

次の各号のすべてに該当する者。

- (1) アジア諸国及び地域*の国籍を有し、2018年4月に日本国内の大学(以下「大学」という。)の学部正規課程3年次に進学または、大学院修士課程1年次に進学する私費外国人留学生(留年者を除く)。日本国内の大学は、寄付者と協議の上選定した指定校制とする。また、在留資格は留学であること。
- (2) 本奨学金の受給期間中、日本国以外に留学する予定がなく、他の奨学金を受けない者[貸与型(返済が必要なもの)奨学金、学位免除及び一時金は除く]。
なお、これまでに本奨学金を受給したことがある者、および以前応募したが選考で不採用となった者は、対象外とする。
- (3) 学業・人物ともに優秀であり、かつ健康である者。
- (4) 留学の目的又は計画が明確で、修学の効果が期待できる者。
- (5) 日本語による意思伝達が可能な者。
- (6) 金融業界、特に生命保険に関心のある者(在籍する大学での専攻分野は問わない)。
- (7) 経済的援助を真に必要とする者。
- (8) 在籍大学の長の推薦を受けることができる者。

* 「アジア諸国及び地域」とは、インド・インドネシア・韓国・カンボジア・シンガポール・スリランカ・タイ・台湾・中国・ネパール・パキスタン・バングラデシュ・フィリピン・ブータン・ブルネイ・ベトナム・香港・マカオ・マレーシア・ミャンマー・モンゴル・ラオス とする。

4. 採用人数

8名程度

5. 支給内容

月額奨学金 10万円

6. 支給期間

2018年4月より2020年3月までの2年間(ただし、大学における在籍期間中に限る。)

7. 応募・推薦方法

- (1) 本奨学金を受けようとする者(以下、「応募者」という。)は、所定の様式による願書を、大学を通じて、本協会理事長(以下「理事長」という。)に提出するものとする。
- (2) 大学の長は、3に挙げる応募資格に該当する者(学部生、大学院生合わせて2名まで)について、8に挙げる応募・推薦書類を理事長に提出するものとする。

8. 応募・推薦書類

- | | |
|--|-----|
| (1) 願書(別紙様式 1。日本語で記載されたものに限る。) | 1 通 |
| (2) 応募者の写真(最近6カ月以内に撮影したもの。4.0cm×3.0cm、上半身、脱帽、裏面に氏名を記入し、願書の所定欄に貼付すること。) | 1 葉 |
| (3) 推薦書(別紙様式 2、推薦理由は指導教官等が記入すること。) | 1 通 |
| (4) 学業成績証明書(在籍する大学における 2016 年度及び 2017 年度前期までのもの) | 1 通 |
- ※日本語以外で記載されたものについては和訳を添付すること。

9. 応募・推薦書類の提出期限

2017 年 12 月 6 日(水)必着。なお、締切期日を過ぎた場合や提出書類に不備がある場合は、受理しない。また、提出書類は一切返却しない。

10. 選考方法及び結果の通知

理事長は 7 の(2)により推薦された者について寄付者とともに選考を行い、受給者を決定する。なお、受給者の選定にあたっては、以下の点に留意して選考を行う。

①卒業後に金融業界または生命保険業界への就職を希望する者を優先する。

②受給者の出身国及び地域に偏りが無いよう考慮する場合がある。

結果は 2018 年 2 月下旬を目途に在籍する大学を通じて通知する。また、必要に応じて面接を行う。

11. 支給方法

本奨学金は、別に定める方法により、大学を通じて支給する。

12. 受給者の義務

- (1) 受給者は、本奨学金受給期間中の学習・研究状況等を、別に定める様式により、大学を通じて理事長に報告しなければならない。
- (2) 受給者は、住所・連絡先及び所属先(大学、就職先等)に変更があった場合、本奨学金受給期間中は大学を通じて、受給終了後は直接本協会へ遅滞なく届け出なければならない。
- (3) 受給者は、年 1 回開催される報告会(6 月頃)に出席し、受給期間中の学業成果または卒業後の進路について報告をしなければならない。
- (4) 受給者は、本奨学金受給期間中及び受給終了後、本協会又は寄付者の要請する提出物等に対し、直ちに応じなければならない。

13. 奨学金給付の休止または終了

以下のいずれかに該当した場合には、奨学金の給付を休止または終了する。

- (1) 在籍する大学の学籍を失った場合。
- (2) 給付期間中にこの要項の定める事項に該当しなくなった場合。
- (3) 病気その他の理由により休学、または長期欠席・留年等となった場合。
- (4) 在籍する大学において懲戒処分を受けたり、学業成績または素行が著しく不良となった場合。
- (5) 応募・推薦書類の記載事項に虚偽のある場合。
- (6) 受給者の義務を遵守しない場合。
- (7) その他受給者として相応しくないと判断された場合。

14. その他(注意事項等)

- (1) 受給者は、原則として、本奨学金の返還義務を負わない。ただし、13 に挙げる事項に該当する場合、すでに支給している奨学金の返還を求める場合がある。また、本奨学金寄付者への入社その他の付帯義務を負うものではない。
- (2) 本奨学金受給生として採用された場合、他の奨学金の受給を目的として辞退することはできない。

15. 個人情報の取扱い

応募・推薦書類上の個人情報は、本協会の実施する学生支援事業のみに利用し、その他の目的には利用しない。

16. 応募・推薦書類の提出先・問い合わせ先

公益財団法人 日本国際教育支援協会 国際交流課
〒105-0003 東京都港区西新橋 1-13-1 DLX ビルディング 12 階
TEL:03-5454-5274 FAX:03-5454-5242 E-mail:ix@jees.or.jp

以上

－奨学金申請時の心得について－

東北大学 教育・学生支援部 留学生課 国際教育係

2016.02.03

1 申請の前に

- ・募集要項をよく読み、自分が条件に合っているか確認してください。応募条件や支給内容だけでなく、採用後の義務なども確認してください。(認定式や交流会などへの出席は必須、財団により定期的な課題提出などもあります)
- ・他の財団に大学推薦されている場合は、結果が未定でも新たに申請することは出来ません。
(ただし、双方の奨学金が併給可の場合を除きます)
- ・財団によって選考方法が異なります。面接がある場合は交通費、場所、日時などを確認し、必ず出席できるようにしてください。

2 申請書類について

- ・継続申請の場合も、前回のものを流用せず新たに願書を作成してください。
 - ・消えるボールペン(フリクション)は使用せず、必ず黒のボールペンで記入してください。
(消えるボールペンで書かれた書類は財団に提出できません)
 - ・なるべく修正液(テープ)や斜線での訂正はせず、新しく書き直しましょう。
 - ・学部・研究科名等は省略せず、正式名称で記入してください。
 - ・記入上の注意や指定には必ず目を通し、それに従って記入してください。
 - ・相手方に失礼のないよう、少なくとも記入欄の5～8割(文字数指定がある場合は7～8割)は記入するようにしてください。
 - ・すべて書き終えたら、記入漏れなどがいないか必ず確認して下さい。特に記入することがない欄も、「なし(数字なら0)」等と記入して下さい。
- ※エクセルデータから出力する場合、すべての文字が切れずに枠内に収まっているか確認してください。

3 その他

- ・応募条件や申請書の書き方など、分からないことがあった場合には指導教員または所属部局の奨学金担当係に問い合わせてください。
- ・総長特別奨学生や授業料も支給される奨学金に採用された場合など、支給期間中の授業料免除申請が出来ない場合があります。その際は必ず所属部局の奨学金担当係に確認してください。
- ・申請に必要な書類に不足はないか、提出の前に必ず確認してください。特に過去の成績証明書の不足が多いので注意して下さい。
- ・大学を通さず直接応募または継続受給を希望し採用された場合は、必ずその旨を所属部局の奨学金担当係に連絡してください。

* 2017年4月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

私費外国人留学生身上調査書

2017.10月現在

1. 身分・名前等

身分	学部 年、学部研究生、 MC 年、DC 年、大学院研究生		学籍番号	
学科名 専攻名		指導 教員名	研究室 TEL	
氏名	(漢字)			既婚・未婚
生年月日	年 月 日生 (年齢 才)		国籍	
東北大学 入学前の 在籍大学		年 月 卒業・修了		
東北大学で の移動 (新しい順 番に)		年 月 ~ 現在		
		年 月 ~ 年 月		
		年 月 ~ 年 月		
住居 (○で囲む)	<input type="checkbox"/> 東北大学国際交流会館 <input type="checkbox"/> 三条ユニバーシティハウス <input type="checkbox"/> 仙台第一国際交流会館 <input type="checkbox"/> 仙台第二国際交流会館 <input type="checkbox"/> 県・市営アパート(住所) <input type="checkbox"/> 民間アパート(住所)			

2. 家庭状況 (現在同居する者だけを記入してください。)

配偶者が学生の場合、在籍学校名・所属学部研究科・学年を記入する)

氏名	続柄	年齢	勤務先または学校名

* 2017年10月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

家計状況申告書

在籍	学部 年 MC 年、DC 年、大学院研究生	学籍番号	
氏名			

家計状況

* 2016年10月から2017年9月までのあなたの家計状況について、1ヶ月を平均して記入してください。

* 2017年4月入学の方は、2017年4月から2017年9月の家計状況について、1ヶ月を平均して記入してください。

* 収入と支出の合計が同じになるように記入してください。

収 入		支 出	
自国の家族等からの送金	円	食 費	円
奨学金(本人)	円	家 賃	円
奨学金(同居家族)	円	光熱水料費	円
アルバイト(本人)	円	交通・通信費	円
アルバイト(同居家族)	円	その他	
貯金から	円 ()		円
その他	()		円
()	円 ()		円
()	円 ()		円
合 計	円	合 計	円

奨学金受給状況

* これまでに奨学金をもらったことがありますか? 有り・無し (○で囲む)

* 有る場合は、以下に記入してください。

もらっていた期間		月額・年額(○で囲む)	奨学金の名称
年 月 ~	年 月	月額・年額 円	
年 月 ~	年 月	月額・年額 円	
年 月 ~	年 月	月額・年額 円	
年 月 ~	年 月	月額・年額 円	

授業料免除の状況(研究生の期間を除く)

* 該当箇所を○で囲む

平成29年度	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
平成28年度	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
平成27年度	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった

指導教員による成績評価(私費外国人留学生各種奨学金申請用)

この評価は、指導されている私費外国人留学生が各種奨学金へ応募する際に記入していただくものです。(2017年10月以降に、他の奨学金で既に提出済みの場合は不要です。)

- 1) 研究室内の他の学生を基準にして、相対的に評価をお願いします。
- 2) 評価はA・B・Cのいずれか、または、評価不能(指導して日が浅い場合など)を該当欄に○印をお願いします。

留学生氏名: _____

所 属: _____ 学科・系 _____ 年次・研究生
_____ 専攻・前期 _____ 年次・研究生
_____ 後期 _____ 年次・研究生

評価	成績評価内容
	A(非常に優秀)
	B(優秀)
	C(良好)
	評価不能

* 評価不能の場合、その理由を記入ください

理由:

平成 年 月 日

記入者(指導教官、クラス担任等)

所属 _____
官職 _____
氏名 _____ 印